

03

9.27 (月)

11:00~ 配信開始

神学部

きたに かなん  
木谷 佳楠 助教

## 宗教は気候変動を 食い止めることができるのか？

### メッセージ

気候変動問題に宗教なんて関係なさそうですね？実は関係がなさそうな所に問題解決の「鍵」が隠されているのです。

### 概要

これからの未来を担う皆さんにとって、気候変動という地球規模の問題は解決が急がれる喫緊の課題です。気候変動には、現在世代の人々が破壊してしまった環境を、将来世代が引き継がなければならない、という世代間の不公平の問題があります。しかも気候変動政策に若い人たちの声はなかなか反映されません。スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんが2019年に国連気候行動サミットで怒りの演説をしたのはそういう理由です。グレタさんの姿は、気候変動をデマだと主張し、気候変動抑制の国際的な枠組みであるパリ協定から離脱したアメリカのトランプ元大統領と対照的でした。そもそも、なぜトランプ元大統領は気候変動をデマだと主張したのでしょうか？その一方、現職のバイデン大統領は就任初日にパリ協定への復帰を決めました。なぜこのように短期間でアメリカは気候変動政策を転換させたのでしょうか？

この講義では、宗教を軸にアメリカの気候変動政策の問題を紐解いていきます。